

警察署協議会会議録

飯塚警察署協議会

開催年月日時	令和7年2月12日 午後4時00分 から 令和7年2月12日 午後5時25分 まで	
開催場所	飯塚警察署3階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下8名
	公安委員会	山本公安委員会委員
	警察署	署長、副署長、会計管理官、地域管理官、刑事管理官、警備管理官、総務課長、会計課長、留置管理課長、生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、地域第二課長、交通課長、事務局（15名）
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 ○ 本日は大変お忙しい中御出席いただき、お礼申し上げます。 また、今回は公安委員会委員にも御参加いただき感謝申し上げます。 ○ 放送局の問題が、社会的に大きく取り上げられている。 企業組織におけるコンプライアンス意識を高めるためにもガバナンスの強化が重要であると思う。 組織というものは少なからず何某かの問題を抱えているものなので、警察の方にも信頼を失うことのないように気を引き締めていただきたい。 私自身も年齢や立場から人に注意されることが少なくなりつつあるので、自身の行動を常に省みていきたいと思う。 【署長挨拶（要旨）】 ○ 本日はお忙しい中、御出席いただきお礼申し上げます。 ○ 昨年は署員一同で治安の維持に努め、関係機関・団体との共同活動を推進した。 その結果、刑法犯認知件数は、県下では前年比約11パーセント増加している中、当署管内では約8パーセント減少した。 また、交通事故発生件数も前年比約20パーセント減少し、平成26年から11年連続の減少となった。 社会を震撼させる事件が相次ぐ中、当署管内の治安が良い方向に向かっているのは皆様の御協力のおかげだと思う。 その一方で、ニセ電話詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺、性犯罪の増加など、課題も山積みである。 本年も、安全・安心なまち実現のため各種警察活動に取り組むので、より一層の力添えをお願いする。		

議 事 概 要

【報告事項】

- 1 闇バイト及びSNS型投資・ロマンス詐欺の実態
- 2 交番等における持凶器事案対応訓練

【質疑応答】

- 会長から「SNS型投資・ロマンス詐欺について、被害に遭っていることに気付いていない者や、被害に気付いても警察に申し出ない者が一定数いると思われるが、把握はあるか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「そのような者はいると思われるが把握は困難である。被害に気づき、警察に届け出てもらえるよう広報啓発していきたい。」旨の回答があった。
- 委員から「刃物を持って警察官を襲う者は、突き刺す、切り付ける、振り回す等どのようにしてくる場合が多いのか。」旨の質疑があり、地域第二課長から「切り付けてくる場合が多いのではないかと思います。実際の現場では刃物等の凶器が使用されることは少なく、殴る等してくる場合が多い。」旨の回答があった。
- 委員から「刃物を持った不審者が来た場合に備えた訓練を職場で行いたいですが、対応してもらえるのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「要望があれば、防犯訓練に伺う。」旨の回答があった。

【飯塚警察署の業務運営に対する意見要望】

- 会長から「闇バイトやSNS型詐欺の説明が寸劇入りでとても理解しやすかった。闇バイト等に限らず、このような創意工夫を凝らした分かりやすい防犯講話を機会あるごとをお願いしたい。」旨の要望がなされた。

【公安委員講評】

- 飯塚警察署協議会委員の皆様には、警察活動に御協力いただき感謝申し上げます。1年ぶりに飯塚警察署協議会に参加させていただき嬉しく思う。
- 刃物を持つ者を想定した逮捕術の実演等を見せていただき、日々の訓練状況がよく分かるとともに、県民の安心が守られているのは日々の訓練があればこそだと感じた。
- 闇バイトやSNS型投資・ロマンス詐欺被害は公安委員会でも話題となるが、警察が社会の変化にどう対応していくかが大切だと思う。
治安が落ち着いているときこそ全署員で被害防止に取り組んでいただきたい。
- 委員の皆様には今後とも警察署への御協力と業務運営に対する意見要望をお願いしたい。